



## 実行時の注意事項

### ①コマンドライン実行の場合

No.	注意事項
1	コマンドラインからの実行は常に「通常呼び出し」となります。
2	コマンド書式はMODE110(アドレス)の後に記述して指定します。 MODE110(アドレス)コマンド パラメータ/パラメータ..... (コマンドは2文字です)
3	コマンドライン指定で実行されると、FBFはまずコマンド構文をチェックします。 この時、必須パラメータが省略されていたり、 ファイル名が8文字より多いなどの不備がある場合は「SN error」等が発生して終了します。 (ただしアドレス指定で0～65536の数値を指定すると BS error、 文字列を指定する部分で数値を指定等を行うと TM error となります)
4	構文誤りがない場合はファイル処理が実施されます。
5	実施したファイル処理で結果が失敗しても(指定したファイルが見つからない、 容量が足りない等)エラーは発生せず、 ワークエリアのリザルトコード(&H17A7)で処理結果を示します。 パラメータで文字列を指定する場合(ファイル名)、 BASICの文法同様、ダブルクォーテーションで囲んでください。 文字変数も利用可能です。
6	パラメータで数値を指定する部分にもBASIC同様、10/16進や変数・計算式での指定が可能です。
7	無効なコマンド名を指定した場合、以下の動作となります。 コマンドの文字数が2文字の場合は リザルトコード(&H17A7)が 1 になる(エラー発生せず)。 コマンドの文字数が2文字以外は、SN error が発生する。

### ②ワークエリア指定実行の場合

No.	注意事項
1	BASICでは、POKE命令を使用して指定アドレス(システムワークエリア)に情報を書き込んだあと、 引数なしのMODE110(コールアドレス) でFBFを呼び出します。
2	FBF処理後、呼び出し元に戻る必要がない場合は、JP命令でジャンプし、 処理後に呼び出し元に戻る必要がある場合は、機能番号に128を足して(最上位ビットをONにする)、 CAL命令によってFBFを呼び出します(CAL呼び出し)。
3	<b>【重要】 機械語からFBFを呼び出す場合は</b> IZレジスタが示す外部アドレスの内容を「0」に設定し、 (IZの値及びIZを示すアドレスの適当な値を設定してください)
4	<b>【重要】 CAL呼び出しする場合は、</b> IXレジスタを 0 に設定した状態でCAL命令によってFBFを実行してください。 IXレジスタが 0 以外の場合は通常呼び出し扱いとなります。
5	FBFコール時、ワークエリア&H1793に書かれた値を 「機能番号(要求機能種別)」とし、該当処理を行います。



## コマンドライン書式一覧

機能	コマンド書式					
		第1パラメータ	第2パラメータ	第3パラメータ	第4パラメータ	
ファイルの保存	MODE110 (BASE) BS	"保存ファイル名"	, 開始アドレス	, サイズ		実行開始番地(※1)
ファイルのロード	MODE110 (BASE) BL	"ロードしたいファイル名"	, ロード開始アドレス(※2)			
ファイルの削除	MODE110 (BASE) KL	"削除したいファイル名"				
ファイル名の変更	MODE110 (BASE) RN	"変更したいファイル名"	, "新しいファイル名"			
ファイルの検索	MODE110 (BASE) SF	"検索したいファイル名"				
システム情報取得	MODE110 (BASE) SI					
ジャンプテーブル作成	MODE110 (BASE) JP					
RRプログラム実行①	MODE110 (BASE) RR	"実行したいファイル名"	, パラメータ…(※3)			
RRプログラム実行②	MODE110 (BASE) RL	"実行したいファイル名"	, ロード開始アドレス	, パラメータ…(※3)		
ファイルの移動処理	MODE110 (BASE) MV	"移動したいファイル名"				
FBF切り離し	MODE110 (BASE) OF					

記号の意味	
灰色部分	必須項目
白部分	省略可能項目
" で囲んだ文字	文字列指定
" で囲んでいない文字	数値(アドレス)指定

※1: 省略した場合は「0000H」が代入されます。

※2: 省略した場合は保存時のアドレスにロードされます。

※3: 必要パラメータは実行するプログラムによります。



VX-3版

# ワークエリアファンクション機能一覧

	機能番号		0		1		2		3		4		5		6		機能番号				7		8		9		10		11		12		127		機能番号																												
	機能名称		ファイル 番号検索 ※3		ファイル 保存		ファイル 削除		ファイル ロード 保存時 アドレスへロード		ファイル ロード アドレス指定		ファイル 名 変更		ファイル 名 検索※3		機能名称				情報 取得		ジャンプ テーブル コピー		ワーク エリア クリア		RR式 実行①		RR式 実行②		ファイル 移動		FBF 切り離し		機能名称																												
アドレス	役割		入	出	入	出	入	出	入	出	入	出	入	出	入	出	役割	アドレス	入	出	入	出	入	出	入	出	入	出	入	出	入	出	入	出	役割	アドレス																											
&H678C	+0	機能番号	0		1		2		3		4		5		6		機能番号	&H678C	+0	7		8		9	0	10		11		12		127		機能番号	&H678C	+0																											
&H678D	+1	ファイル番号	ファイル 番号														ファイル番号	&H678D	+1		※1				0									ファイル番号	&H678D	+1																											
&H678E	+2	ファイル名	登録されている ファイルの情報	保存したい ファイルの情報	削除したい ファイル名	ロードしたい ファイル名	ロードしたい ファイル名	ロードしたい ファイル名	変更したい ファイル名	検索したい ファイル名	検索した ファイルの情報						ファイル名	&H678E	+2		※2				0	実行したい ファイル名	実行したい ファイル名	移動したい ファイル名							ファイル名	&H678E	+2																										
&H678F	+3																				0																																										
&H6790	+4																																																														
&H6791	+5																																																														
&H6792	+6																																																														
&H6793	+7																																																														
&H6794	+8																																																														
&H6795	+9																																																														
&H6796	+10	ロードアドレス									ロード先						ロードアドレス	&H6796	+10						0	ロード先									ロードアドレス	&H6796	+10																										
&H6797	+11																&H6797	+11						0																					&H6797	+11																	
&H6798	+12	サイズ															サイズ	&H6798	+12						0										サイズ	&H6798	+12																										
&H6799	+13																																									&H6799	+13						0										&H6799	+13			
&H679A	+14	実行アドレス															実行アドレス	&H679A	+14						0										実行アドレス	&H679A	+14																										
&H679B	+15																&H679B	+15						0																				&H679B	+15																		
&H679C	+16	収納アドレス															収納アドレス	&H679C	+16						0										収納アドレス	&H679C	+16																										
&H679D	+17																&H679D	+17						0																				&H679D	+17																		
&H679E	+18	ロードアドレス															ロードアドレス	&H679E	+18						0										ロードアドレス	&H679E	+18																										
&H679F	+19																&H679F	+19						0																				&H679F	+19																		
&H67A0	+20	リザルトコード		0/1		0/1		0/1		0/1		0/1		0/1		0/1	リザルトコード	&H67A0	+20		0		0		0	0/1		0/1		0/1		0		リザルトコード	&H67A0	+20																											
&H67A1	+21	ファイル名								新しい ファイル名							ファイル名	&H67A1	+21						0											ファイル名	&H67A1	+21																									
&H67A2	+22																																										&H67A2	+22						0										&H67A2	+22		
&H67A3	+23																																										&H67A3	+23						0										&H67A3	+23		
&H67A4	+24																																										&H67A4	+24						0										&H67A4	+24		
&H67A5	+25																																										&H67A5	+25						0										&H67A5	+25		
&H67A6	+26																																										&H67A6	+26						0										&H67A6	+26		
&H67A7	+27																																										&H67A7	+27						0										&H67A7	+27		
&H67A8	+28																																										&H67A8	+28						0										&H67A8	+28		
&H67A9～	+29	ワーク															ワーク	&H67A9～	+29						0						※4		ワーク	&H67A9～	+29																												

【情報取得時】※1=登録されているファイルの総数 ※2=インストール前のDIREN(&H68CA,&H68CB)ポインタの値

【ファイル移動時】※4=FDDバッファ &H67A9より200バイトを移動のワーク領域として使用します。

【ファイル番号検索時】【ファイル名検索時】※3=通常呼び出し時に限り、以下のBASIC変数に情報が代入されます。

FN\$:ファイル名 ST:スタートアドレス SZ:サイズ EX:実行アドレス SO:収納アド

【注意】 アドレスはリトルエンディアン形式で格納する必要があります。例えば&H6796,7番地に「&H70FF」の場合、&H6796=&HFF , &H6797=&H70 となります。



## 失敗要因一覧

機能番号	コマンドライン	機能概要	失敗要因
0	—	ファイル番号検索	0 または最大登録数を越えたファイル番号を指定した(不正なファイル番号の指定)。
1	BS	ファイル保存	既にファイルが255個登録されている。 ファイルを保存する為の容量が不足している。 開始アドレス+サイズが FFFFH を超えている(不正アドレスの指定)。 ファイル名の先頭に「\$」が付いているファイルに対して上書き保存を行おうとした。 サイズが 0 で保存指定された。 (例えば 0000H番地だけの内容を保存する場合、サイズは 1 になります) ファイル名の1文字目が キャラクターコード 0 になっている(不正なファイル名の指定)
2	KL	ファイル削除	ファイルが全く登録されていない。 指定したファイル名が存在しない。 ファイル名の先頭に「\$」が付くファイルを削除しようとした。
3	BL	ファイルロード (保存時アドレスへのロード)	指定したファイルが存在しない。 開始アドレス+サイズが FFFFH を超えている(不正アドレスの指定)。
4	BL	ファイルロード (アドレス指定ロード)	指定したファイルが存在しない。 開始アドレス+サイズが FFFFH を超えている(不正アドレスの指定)。
5	RN	ファイル名変更	指定したファイルが存在しない。 新しいファイル名が既に存在する。
6	SF	ファイル名検索	指定したファイルが存在しない。
7	SI	情報取得	—
8	JP	ジャンプテーブルコピー	—
9	—	ワークエリアクリア	—
10	RR	RR式実行①	RR形式プログラムとして不備が確認された(チェックエラー)。
11	RL	RR式実行②	RR形式プログラムとして不備が確認された(チェックエラー)。 開始アドレス+サイズが FFFFH を超えている(不正アドレスの指定)。
12	MV	ファイル移動	指定したファイルが存在しない。 ファイル名の先頭に「\$」が付いていないファイルを指定した。
127	OF	FBF切り離し	—

コマンドライン指定時、文法に問題がある場合は、BASICエラーが発生します。(SN ErrorやTM Error、BS Error等)  
 ワークエリア指定による実行時は、リザルトコード(&H17A7)の変化のみでBASICエラーを発生しません。



## RR形式実行結果一覧

### RR形式実行① の実行結果

保存時のロードアドレス	リザルトコード	コマンドライン時のエラー	結果
ファイル保存時の状態	0	無し	RR実行形式①を一度も行っていない状態
ファイル保存時の状態	1	SN error	コマンド構文誤りにより処理を中止しました。 (パラメータが不足している場合のエラー) 例) MODE110(BASE)RL
&HFFFF	0	無し	再配置処理は完了し、 処理は指定したファイルに渡されました。
&HFFFF	0	SN error 等	指定したファイル側で発生したエラーです。 エラー詳細についてはファイルの説明書をご覧ください。 例) MODE110(BASE)CL,A\$
&HFFFF	1	無し	再配置データ修正中に 処理は途中で終了しました。 ファイルの内容は書き換えられています。

### RR形式実行② の実行結果

保存時のロードアドレス	リザルトコード	コマンドライン時のエラー	結果
ファイル保存時の状態	0	無し	再配置処理は完了し、 処理は指定したファイルに渡されました。
ファイル保存時の状態	0	SN error 等	指定したファイル側で発生したエラーです。 エラー詳細についてはファイルの説明書をご覧ください。 例) MODE110(BASE)RL"CLR.R",&H0000
ファイル保存時の状態	1	無し	再配置データ修正中に 処理は途中で終了しました。 又はファイルが指定アドレスにロードできませんでした。
ファイル保存時の状態	1	SN error 等	コマンド構文誤りにより処理を中止しました。 (パラメータ不足、文字を指定するところに数値を指定した等) 例) MODE110(BASE)RL



## ファイル格納情報



フリーエリアへ

ファイル“A”(2バイト)→ファイル“B”(2バイト)の順に登録した際のファイル格納情報です。  
最後に登録したファイル“B”を基点(0000H)としています。

概要	アドレス	内容(H)	解説	
ファイル“B” 保存範囲: 3456H~3457H 実行アドレス 3458H	0000	+0	FF	ファイルの内容
	0001	+1	FF	
	0002	+2	42	ファイル名 (42H = “B”)
	0003	+3	00	
	0004	+4	00	
	0005	+5	00	
	0006	+6	00	
	0007	+7	00	
	0008	+8	00	
	0009	+9	00	
	000A	+10	56	ロードアドレス &H3456
	000B	+11	34	
	000C	+12	02	ファイルサイズ 2バイト
	000D	+13	00	
	000E	+14	58	実行アドレス &H3458
	000F	+15	34	
ファイル “A” 保存範囲: 1234H~&H1235H 実行 1236H	0010	+0	FF	ファイルの内容
	0011	+1	FF	
	0012	+2	41	ファイル名 (41H = “A”)
	0013	+3	00	
	0014	+4	00	
	0015	+5	00	
	0016	+6	00	
	0017	+7	00	
	0018	+8	00	
	0019	+9	00	
	001A	+10	34	ロードアドレス &H1234
	001B	+11	12	
	001C	+12	02	ファイルサイズ 2バイト
	001D	+13	00	
	001E	+14	36	実行アドレス
	001F	+15	12	



FBF本体へ

“SF”コマンドでファイル“B”を検索した時の  
のワークエリアの情報

アドレス	内容(H)	解説	
1793	+0	00	
1794	+1	00	
1795	+2	42	ファイル名 (42H = "B")
1796	+3	00	
1797	+4	00	
1798	+5	00	
1799	+6	00	
179A	+7	00	
179B	+8	00	
179C	+9	00	
179D	+10	56	ロードアドレス 3456H
179E	+11	34	
179F	+12	02	ファイルサイズ 2バイト
17A0	+13	00	
17A1	+14	58	実行アドレス 3458H
17A2	+15	34	
17A3	+16	00	このファイルの 格納先頭アドレス
17A4	+17	00	